

公認心理師法附則第2条第1項第1号から第4号までに規定する公認心理師になるために必要な科目の取扱いについて
大学院(修士)

大学院における必要な科目名		含まれる事項	具体的な科目名の例 (厚労省・文科省例示)	本専攻の開講科目における読替科目	
I	1は必須、3科目以上	1 保健医療分野に関する理論と支援の展開	①保健医療分野に関わる公認心理師の実践	精神医学特論 心身医学特論 神経生理学特論 精神薬理学特論 臨床心理学	(次のうち1科目) 精神病理学特論 医学特論
		2 福祉分野に関する理論と支援の展開	①福祉分野に関わる公認心理師の実践	発達心理学 特別支援教育 障害者(児)心理学 障害児の教育と心理	(次のうち1科目) 障害臨床心理学特論 老人心理学特論 高齢者心理学特論
		3 教育分野に関する理論と支援の展開	①教育分野に関わる公認心理師の実践	学校臨床心理学特論 発達心理学 特別支援教育 学校心理学 教授・学習心理学 障害児の教育と心理	(次のうち1科目) 教育臨床心理学特論 児童臨床特論 発達心理学特論
		4 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	①司法・犯罪分野に関わる公認心理師の実践	社会病理学特論 犯罪心理学特論	
		5 産業・労働分野に関する理論と支援の展開	①産業・労働分野に関わる公認心理師の実践	産業心理学特論	
II	2科目以上	6 心理的アセスメントに関する理論と実践	①公認心理師の実践における心理的アセスメント ②心理的アセスメントに関する理論と方法 ③心理に関する相談、助言、指導等への上記①及び②の応用	心理臨床査定実習 心理教育的アセスメント 教育評価・心理検査(実習を含む)	(次のうち1科目) 臨床心理査定特論 臨床心理査定演習 臨床心理査定特論A 臨床心理査定演習A 臨床心理査定演習B
		7 心理支援に関する理論と実践	①力動論に基づく心理療法の理論と方法 ②行動論・認知論に基づく心理療法の理論と方法 ③その他の心理療法の理論と方法 ④心理に関する相談、助言、指導等への上記①から③までの応用 ⑤心理に関する支援を要する者の特性や状況に応じた適切な援助方法の選択・調整	心理療法特論 臨床心理面接特論 学校カウンセリング・コンサルテーション 学校カウンセリング(実習を含む)	(次のうち1科目) 心理療法特論 臨床心理面接特論 臨床心理面接特論A 臨床心理面接特論B
		8 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	①家族関係等集団の関係性に焦点を当てた心理支援の理論と方法 ②地域社会や集団・組織に働きかける心理学的援助に関する理論と方法 ③心理に関する相談、助言、指導等への上記①及び②の応用	臨床心理地域援助特論 家族心理学特論 グループ・アプローチ特論 学校カウンセリング(実習を含む) 学校カウンセリング・コンサルテーション	(次のうち1科目) 集団心理療法特論 家族臨床特論
		9 心の健康教育に関する理論と実践	①心の健康教育に関する理論 ②心の健康教育に関する実践	生徒指導・教育相談・キャリア教育 生徒指導・心理相談	
III	必須、時間数と分野は不問	10 心理実践実習	知識及び技能の基本的な水準の修得を目的とし、次に掲げる事項について、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働等の分野の施設において実習を行うこと。 (ア)心理に関する支援を要する者等に関する医科の知識及び技能の修得 (1)コミュニケーション (2)心理検査 (3)心理面接 (4)地域支援 等 (イ)心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成 (ウ)心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ (エ)多職種連携及び地域連携	臨床心理実習 心理教育的アセスメント基礎実習 学校カウンセリング・コンサルテーション基礎実習 教育評価・心理検査(実習を含む) 学校カウンセリング(実習を含む)	(次のうち1科目) 臨床心理実習 臨床心理学実習 臨床心理実習A 臨床心理実習B